

会議録

会議名	平成28年度第2回健康福祉審議会地域福祉分科会
開催日時	平成29年2月2日(木)午後3時00分から午後4時00分
場所	フォーラム七尾4階中ホール
出席者	奥井会長、川島副会長、奥村、藏、松本、南、春木、飛弾、廣澤、本丹、松尾、山口、吉田各委員(計13名)(欠席委員1名:山崎委員) 【事務局】中川健康福祉政策室長、松崎健康福祉政策室次長、土倉・堀口・松本・関森・高瀬各室員、小原専門員
配布資料	第2回七尾市健康福祉審議会地域福祉分科会資料(事前配布の上、当日持参)

内容【要旨】

1. 開会

(事務局)

欠席委員1名の報告、委員14名中、委員13名が出席し分科会が成立する旨を報告する。

(会長)

市では、2025年問題を見据え、地域支援を必要とする人が地域でしっかりと生活出来るよう安心安全なまちづくりを進めるため、支え合いのしくみづくり、こころづくり、活動の場づくりに取り組んでいる。本日は、今年度の地域福祉に関する主な取り組みについて報告を受ける。委員の皆様の協力を願いたい。

(事務局)

会議の進行は、地域福祉分科会要綱により会長が議長となるとなっているので、会長に進行をお願いする。

2. 説明・報告事項

(1) 平成28年度の地域福祉に関する主な取り組みについて

(会長)

事務局から説明願う。

(事務局)

【事前配布資料に基づき説明】

1. 生活支援体制の整備に向けた取り組み

(1) 生活支援コーディネーター(第1層)の配置

(2) 協議体の設置

(3) 生活・介護支援サポーター養成講座の実施

2. 地域福祉ネットワーク・自主防災組織への取り組み

(1) 未設置町会を対象とした説明会の実施

(2) 設置済み町会における地域福祉活動の活性化

3. 生活困窮者への支援

(1) 自立相談支援事業

(2) 住居確保給付金

(3) 学習援助事業

4. 地域福祉の担い手育成

(1) 民生委員児童委員、地域福祉推進員等、地域福祉の担い手への支援

(2) 生活・介護支援サポーター養成講座(再掲)

(3) 認知症サポーター養成講座の開催

(4) ゲートキーパー養成講座の実施

5. 支え合いマップづくり事業(七尾市社会福祉協議会、福祉課)

- (1) 昨年度までに実施した町会へ継続した関わり
- (2) 新しい地区での実施

(2) 平成28年度七尾市健康福祉審議会及び地域福祉分科会開催状況について

(会 長) 事務局から説明願う。

(事務局) 【事前配布資料に基づき説明】

(会 長) 29年度の開催予定は。

地域福祉分科会の開催は2回予定。障害者福祉及び高齢者福祉の各分科会は、両計画の改定年度に伴い、健康福祉審議会の開催は4回予定。

<質疑・意見応答>

(委 員) 生活・介護支援サポーターのスキルアップ講座について、各地区の日程、場所について教えてほしい。

(事務局) 開催日は、田鶴浜3月7日、和倉地区2月18日、徳田地区2月9日、3～4回連続で開催。いずれも既受講者で地区在住者優先で定員20名程度。講座内容は、認知症に関することを主眼に置いた勉強会。詳細は市社会福祉協議会地域福祉課までお問い合わせいただきたい。また、地区での開催希望等があれば、地区社会福祉協議会長を通じて市社会福祉協議会まで御相談いただきたい。

(委 員) 生活支援体制整備事業について

①第2層生活支援コーディネーターには、民間人の力が必要である。具体的には、地域にあるサポート施設が地域の見守りを行う等。日常生活圏域の中で民間の力を活用することは、今後5年、10年先を見据えた時必要であると考えているが、このような考えはあるのか。ないのであれば検討していただきたい。

②第2層コーディネーターの配置は、何人を考えているか。

地域のことを一番知っているのは地域の人であり、コーディネーターは、そのような方と市との情報共有も行いながら第3層（地域）の力を生かすべきである。

(事務局) しくみづくりについては、当初予算策定期間であり明言は出来ないが、想いとしては、

①生活支援コーディネーター（第2層）の人数については、15地区15名の配置は人件費等がかかり難しい。3名程度、1名5地区の担当を考えている。地区の事情もあり、各地区のしくみづくりについて話し合っていたきたい。

協議体は、15地区で設置していただき、地域で話し合う場を持っていただきたい。その際は、地域づくり協議会での専門部会で当てはまるようであれば、地域と相談しながら進めたい。施設や移動販売等他のサービスの有無等地域ごとに社会資源が異なるため、メンバー構成は違ってくる。市としても地区担当を設け、地域へ出向いて一緒に考えていくことを考えている。

②経費の面からも、市全体を3名程度でやっていかなければと考えている。第1層協議体でも協議を行っていく。15地区同時に進む事が出来れば一番良いが、先進地域をモデルとしながら、残りの地区も進めていく形がよいと考えた上で人数を設定している。

(委 員) 生活・介護支援サポーター養成講座について

スキルアップ講座は、認知症サポーター養成講座の受講内容と同様なものか、より実践的なものなのか。また、受講者にはアンケートを実施してみてもどうか。より継続的になると思う。

(事務局) 生活・介護支援サポーターは地域福祉の中心、補助的な役割を担う人材育成である。今回のスキルアップ講座は、認知症の部分に焦点を絞るので直接的には関係ない。詳細については分かり兼ねるが、最初の講座で少し足踏みをしてしまう人、スキルアップを望む人等個人差はある。

(委員) 介護支援ボランティアポイント制度について
前回は申し上げているが、今後、施設でのポイントの付与は行うつもりか。本来の姿は地域貢献である。是非やっていただきたい。

(事務局) 現在、準備中である。ただ、最後の詰めとして、地域のお世話をする人の中で、ポイントを登録している人、していない人がいる場合等の課題もあり、ガイドラインが作成出来れば来年度から稼働出来ると考えている。

(委員) AED講習は、年間何人受講したのか。主体は地区社会福祉協議会であるが、講師等は消防機関等の協力をしていただく等は行っていないのか。また、福祉を行っている施設の人等は特にこのような取り組みを大に行っていただきたい。

(事務局) お調べして、後ほど報告する。

⇒受講者数：千野町自主防災組織60名、八幡町会60名、中島代本町会40名、計160名
講師は、七尾鹿島消防本部より派遣している（後日、委員へ報告済）

(委員) 生活支援体制整備事業については、今後、地域福祉分科会の場で進捗状況を報告していただきたい。

(事務局) 次回29年度第1回目には、資料も添付の上、具体的な報告を申し上げる。

3. その他

(委員) 私は、高齢者グループデイの補助を利用し、地域の元気な老人を集めて自宅でサロンを月4回開催している。現在10名おり、皆楽しみに集まってくるが、この事業は3年間で打ち切られるので非常に残念。今後もっと地域の人に参加していただき継続していきたい。

(事務局) 高齢者グループデイの補助期間は3年間と決められている。終了後は、その他の制度への新規移行を勧めている。保険課での介護予防グループデイ、市社会福祉協議会では「よりあいの場」等がある。後日ご相談いただければ、その他の助成制度等について提案させていただきたい。

(委員) 1人暮らしの方の見守りとして、緊急通報装置の補助はあるのか。それはどのようなものか。

(事務局) 貸与への補助を行っている。ペンダント形のもので、緊急時にボタンを押すと指定された場所へ繋がる仕組みになっている。設置する際は、ご家族と相談しながら行っている。自己負担額は、月額千円以内である。

(委員) 地域づくり協議会内で、地域福祉事業について地域提案型の事業計画を立てている。事務局（公民館）に確認しても明確な回答が無い。担当である地域づくり支援課は、福祉課や市社協とも摺り合わせは行っているのか。説明書きには、担当課と直接話し合っほしいという文面があったが、これまでも民生委員や地域推進員がやっていることを重複していることを提案するようで、必要性に疑問がある。

(事務局) 地域づくり協議会への福祉向け補助金の件かと思う。提案型事業については打合せにも入っている。市社協の想いを組んで、地域づくり支援課への提案を行っている。我々は、地域が自分でやることは全て提案型であると認識している。

(委員) 介護保険要支援1、2の方を、地域で面倒をみる状況がやってくる中で、市としての具体的施策はあるのか。2025年問題へ向けての課題であり、今から対応を作っておかないと遅くなると考えるが。

(事務局) 要支援1、2の方は、地域支援事業費としてサービスは変わらずある。また、自立、介護予防を目的とした「緩和型」として新たにメニューが追加される。市ホームページ、広報ななお3

月号にも掲載予定である。

また、健康、筋力の維持により排泄摂食が可能であることから、筋力を継続的に維持出来るよう「100歳体操」を町単位で推進している。介護予防グループデイ補助金として、額3万円～10万円の上限内で補助し、自立に向けた取り組みを行っている。

(委員) 平成29年6月頃に法律改正されると聞いている「混合介護」について、市の動きは。

(事務局) まだ国から正式に通知は来ていない。通知があれば、随時対応を行う予定。

5. 閉 会

(副会長)

本日は、色々な意見、中でも要望があったと思う。事務局には、その意見要望が反映するよう努力していただきたい。

(事務局)

本日の日程を持って、今年度の地域福祉分科会は終了する。なお、委員の皆様におかれては、来年度も引き続きお願い申し上げます。